

令和3年12月15日
千葉県農林総合研究センター長

I 向こう1か月間の予報

発生量及び発生時期は平年との比較で表す。予想発生量は「多」「やや多」「並」「やや少」「少」で表している。また、予報の根拠の（+）は多発要因、（-）は少発要因であることを示す。並〔発生なし〕は平年並で、今年発生がないことを示す。

なお、「並」とは平年値を中心にして40%の度数に入る幅、「やや多」「やや少」は「並」の外側20%の度数に入る幅、「多」「少」は上記3者の外側10%の度数に入る幅である。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
冬春キュウリ	うどんこ病	やや少	12月上旬発生量：やや少（-） 気象予報：日照時間並か多（-）	<ul style="list-style-type: none"> 窒素肥料の多追肥を避ける。 発病初期から薬剤防除する。
	褐斑病	並	12月上旬発生量：並〔発生なし〕 気象予報：日照時間並か多（-）	<ul style="list-style-type: none"> 除去した被害葉等は施設外へ持ち出し、適切に処分する。 発病初期から薬剤防除する。
	べと病	やや少	12月上旬発生量：並 気象予報：日照時間並か多（-）	<ul style="list-style-type: none"> 下方の病葉は摘み取り、施設外へ持ち出し、適切に処分する。 発病初期から薬剤防除する。
	菌核病	並	12月上旬発生量：並〔発生なし〕 気象予報：日照時間並か多（-）	<ul style="list-style-type: none"> 発病果や発病葉は速やかに施設外へ持ち出し、適切に処分する。 令和2年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照する。
	コナジラミ類	やや多	12月上旬発生量 オンシツコナジラミ：並 タバココナジラミ： やや多（+） 12月黄色粘着トラップ誘殺数 ：並 気象予報：日照時間並か多（+）	<ul style="list-style-type: none"> タバココナジラミは退緑黄化病を、オンシツコナジラミは黄化病を媒介する。これらはウイルス病であり、一度発生すると治療できないので、コナジラミ類の防除が重要である。 早期発見に努め、発生初期から防除する。 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
冬 春 ト マト	うどんこ病	やや多	12月上旬発生量：やや多（＋） 気象予報：日照時間並か多（－）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発病葉等は施設外へ持ち出し、適切に処分する。 ・ 発病初期から薬剤防除する。
	灰色かび病	並	12月上旬発生量 果実発病度：並〔発生なし〕 発病株率：並〔発生なし〕 気象予報：日照時間並か多（－）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内の換気を良くし、湿度をできるだけ下げる。 ・ 発病果や発病茎葉は施設外へ持ち出し、適切に処分する。 ・ <u>令和3年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照する。</u>
	オンシツコナジラミ	並	12月上旬発生量：並〔発生なし〕 気象予報：日照時間並か多（＋）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 黄色粘着トラップの設置等で発生を的確に把握し、発生初期から薬剤防除する。 ・ タバココナジラミは、黄化葉巻病を媒介する。黄化葉巻病発病株は必ず抜き取り、適切に処分する。 ・ 施設内外の除草や防虫網の設置など耕種的・物理的防除に努める。
	タバココナジラミ	やや多	12月上旬発生量：やや多（＋） 気象予報：日照時間並か多（＋）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内外の除草や防虫網の設置など耕種的・物理的防除に努める。
キ ャ ベ ツ	黒腐病	並	12月上旬発生量： 冬キャベツ：やや多（＋） 春キャベツ：並〔発生なし〕 気象予報：気温並 降水量少か並（－）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病原菌は葉先の水孔や傷口から侵入しやすいので、既発ほ場では風雨後の防除に努める。
	菌核病	やや多	12月上旬発生量： 冬キャベツ：やや多（＋） 春キャベツ：並〔発生なし〕 気象予報：気温並 降水量少か並（－）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発病株は速やかに抜取ってほ場外へ持ち出し、適切に処分する。 ・ 薬剤防除は、株元まで薬剤が到達するように、ていねいに行う。 ・ <u>令和2年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照する。</u>

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
秋冬ネギ	さび病	並	12月上旬発生量：並〔発生なし〕 気象予報：気温並 降水量少か並（－）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤防除する場合は、収穫前使用日数に注意する。
	べと病	並	12月上旬発生量：並〔発生なし〕 気象予報：気温並 降水量少か並（－）	
	ネギアザミウマ	やや多	12月上旬発生量 被害度：やや多（＋） 寄生株率：やや少（－） 気象予報：気温並 降水量少か並（＋）	
冬レタス	菌核病	並	12月上旬発生量：並〔発生なし〕 気象予報：気温並 降水量少か並（－）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発病株は速やかに抜き取りほ場外に持ち出し適切に処分する。 ・ トンネル内が過湿にならないようにする。 ・ <u>菌核病は令和2年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照する。</u> ・ <u>灰色かび病は令和3年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照する。</u>
	灰色かび病	並	12月上旬発生量：並〔発生なし〕 気象予報：気温並 降水量少か並（－）	
イチゴ	うどんこ病	並	12月上旬発生量：並 気象予報：日照時間並か多（－）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 葉かき作業を適宜行い、切除部位を適切に処分する。 ・ 発病初期から薬剤防除する。 ・ 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 ・ 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。 ・ 葉かき作業を適宜行い、切除部位を適切に処分する。 ・ 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 ・ 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
	アブラムシ類	並	12月上旬発生量：やや少（－） 気象予報：日照時間並か多（＋）	
	ハダニ類	並	12月上旬発生量：やや少（－） 気象予報：日照時間並か多（＋）	

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
温州ミカン	ミカンハダニ	少	11月下旬発生量：少（－） 気象予報：気温並 降水量少か並（＋）	・ マシン油乳剤による越冬期防除を行う。ただし、樹勢の弱い樹では散布を避ける。
カーネーション	アザミウマ類	やや少	11月下旬発生量：少（－） 11月黄色粘着トラップ誘殺数： やや少（－） 気象予報：日照時間並か多（＋）	・ 施設内外の雑草や花がらは適切に処分し、ほ場周辺に放置しない。 ・ 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
	ハダニ類	やや少	11月下旬発生量：やや少（－） 気象予報：日照時間並か多（＋）	・ 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 ・ 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
ストック	菌核病	並	11月下旬発生量 施設ストック：並 [発生なし] 露地ストック：並 [発生なし] 前作発生量（2月下旬） 施設ストック：並 [発生なし] 露地ストック：並 [発生なし] 気象予報：日照時間並か多（－） 降水量少か並（－）	・ 発病株は速やかに抜き取りほ場外に持ち出し、適切に処分する。 ・ 施設栽培では過湿にならないよう注意する。 ・ <u>令和2年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照する。</u>
野菜・花き共通	コナガ	並	11月下旬発生量 施設ストック：並 露地ストック：やや少（－） 12月上旬発生量 冬キャベツ：並 [発生なし] 春キャベツ：並 [発生なし] 11月フェロモントラップ誘殺数： 並 気象予報：気温並 降水量少か並（＋）	・ 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 ・ 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。

参考資料

○主要病害虫の発生状況

巡回調査結果（野菜：12月上旬、果樹・花き：11月下旬）

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			今年値	平年値	前年値	
冬春キュウリ (山武)	うどんこ病	発病葉率 (%)	9.60	14.08	15.60	
	褐斑病	発病葉率 (%)	0.00	0.33	0.00	
	菌核病	果実発病度	0.00	0.88	0.00	
	灰色かび病	果実発病度	0.00	0.27	0.00	
	〃	発病株率 (%)	0.00	0.53	0.00	
	べと病	発病葉率 (%)	1.00	7.77	0.00	
	ワタヘリクロノメイガ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	オンシツコナジラミ	成虫寄生株率 (%)	1.60	1.33	0.00	
	タバココナジラミ	成虫寄生株率 (%)	0.80	0.27	1.60	
	コナジラミ類	黄色粘着トラップ誘殺数	20.40	25.13	7.00	
	アザミウマ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.27	0.00	
ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.13	0.00		
冬春トマト (長生、海匠)	うどんこ病	発病株率 (%)	4.80	0.72	0.40	
	灰色かび病	発病株率 (%)	0.00	0.04	0.40	
	〃	果実発病度	0.00	0.00	0.00	
	葉かび病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	黄化葉巻病	発病株率 (%)	0.00	0.12	0.20	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.40	0.02	0.00	
	オンシツコナジラミ	成虫寄生株率 (%)	0.00	0.09	0.00	
	タバココナジラミ	成虫寄生株率 (%)	0.40	0.08	0.00	
	ハモグリバエ類	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.76	0.40	
	アザミウマ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.04	0.00	
冬キャベツ (海匠)	菌核病	発病株率 (%)	2.40	0.56	4.80	
	黒腐病	発病度	3.60	1.28	2.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	1.16	1.60	
	コナガ	10株当たり寄生幼虫蛹数	0.00	0.22	0.00	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	タマナギンウワバ	10株当たり寄生幼虫数	0.00	0.05	0.00	
春キャベツ (海匠)	菌核病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	黒腐病	発病度	0.00	0.09	0.60	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	1.00	1.96	2.40	
	コナガ	10株当たり寄生幼虫蛹数	0.00	0.08	0.00	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
秋冬ネギ (長生、山武)	黒斑病	発病度	2.50	4.75	1.60	
	さび病	発病度	0.00	0.37	0.10	
	べと病	発病株率 (%)	0.00	0.32	0.00	
	ネギアザミウマ	被害度	28.60	21.76	46.30	
	〃	成幼虫寄生株率 (%)	19.60	40.50	44.80	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	1.20	0.89	0.40	
	ハスモンヨトウ	被害株率 (%)	0.80	0.08	0.00	
	シロイチモジヨトウ	被害株率 (%)	1.60	0.08	0.80	
	ネギコガ	被害株率 (%)	0.80	0.08	0.00	
	ネギハモグリバエ	被害度	6.30	0.60	1.40	
冬レタス (安房、君津)	灰色かび病	発病株率 (%)	0.00	0.16	0.00	
	菌核病	発病株率 (%)	0.00	0.32	0.00	
	モザイク病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	斑点細菌病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	ネキリムシ類	被害株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.40	0.00	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
イチゴ (山武、海匠、安房)	うどんこ病	発病株率 (%)	3.16	4.70	4.31	
	灰色かび病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	2.44	4.58	4.22	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.44	0.81	0.76	
	ハダニ類	雌成虫寄生株率 (%)	11.24	18.25	10.58	
温州ミカン (安房)	ヤノネカイガラムシ	成幼虫寄生葉率 (%)	0.00	0.18	0.00	
	ミカンハダニ	雌成虫寄生葉率 (%)	0.00	8.70	4.40	
	クワゴマダラヒトリ	被害果率 (%)	0.00	0.00	0.00	
カーネーション (安房)	萎凋病	発病株率 (%)	0.00	0.64	0.00	
	立枯病	発病株率 (%)	0.00	0.64	0.80	
	アザミウマ類	被害株率 (%)	5.60	18.36	7.20	
	"	黄色粘着トラップ誘殺数	1.60	6.50	0.60	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.16	0.00	
	"	黄色粘着トラップ誘殺数	16.60	41.42	60.20	
	ハダニ類	雌成虫寄生株率 (%)	0.00	7.20	0.00	
	シロイチモジヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
ストック (安房)	ヨトウムシ類	被害株率 (%)	0.00	1.18	0.80	
	菌核病 (施設)	発病株率 (%)	0.00	0.16	0.00	
	菌核病 (露地)	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	萎凋病 (施設)	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	萎凋病 (露地)	発病株率 (%)	0.00	0.08	0.00	
	コナガ (施設)	被害株率 (%)	4.00	5.06	5.60	
	"	幼虫寄生株率 (%)	0.00	1.38	0.00	
	コナガ (露地)	被害株率 (%)	7.20	13.64	0.00	
	"	幼虫寄生株率 (%)	0.00	4.79	0.00	
	アブラムシ類 (施設)	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.24	0.00	
アブラムシ類 (露地)	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	6.58	0.80		

トラップ月間誘殺数 (11月)

区分	調査害虫名	トラップ設置場所	誘殺数 (頭/日)			備考
			本年値	平年値	前年値	
性フェロモン	コナガ	海匠	1.0	1.5	0.6	
	ハスモンヨトウ	県内全域	16.5	20.9	24.0	
	シロイチモジヨトウ	"	1.5	0.2	0.1	
	オオタバコガ	"	0.9	1.3	1.9	
	タバコガ	"	0.0	0.2	0.2	

○気象予報

12月9日気象庁発表

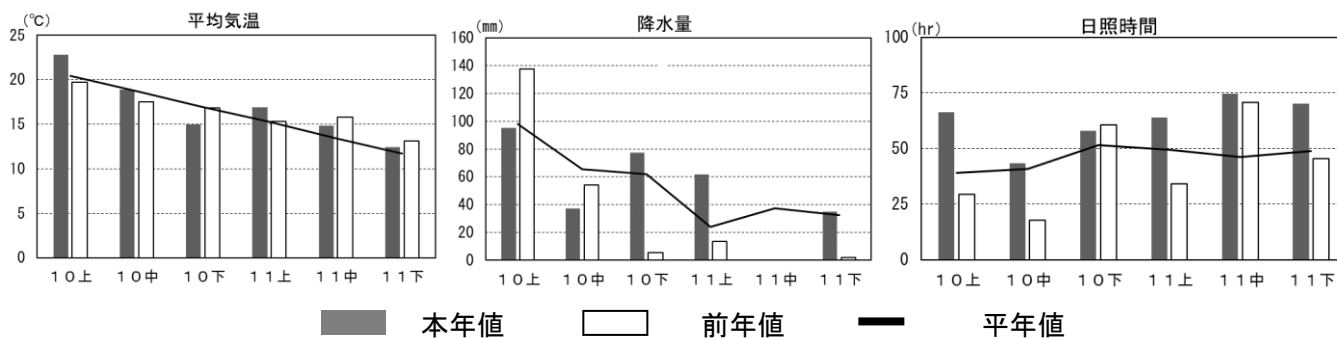
関東甲信地方における向こう1か月間の確率(%)

要素	低い・少ない	平年並	高い・多い
気温	30	30	40
降水量	40	40	20
日照時間	20	40	40

出典：気象庁ホームページ

向こう1か月間の各気象要素の平年値
(12月16日～1月18日)

要素	千葉	銚子	館山
気温(°C)	6.9	7.5	7.2
降水量(mm)	60.1	95.9	88.9
日照時間(hr)	206.3	193.8	191.1



過去2か月の気象概況(アメダス千葉、銚子地方気象台提供)

農薬は適正に使用しましょう。無登録農薬の使用はできません。

- 農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍数、収穫前使用日数、総使用回数などが定められています。
- 登録番号のない薬剤は、農薬として使用できません。登録農薬には必ず登録番号が記載されています(記載例 農林水産省登録第〇〇〇号)。
- 農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう。
- 飛散しないよう工夫して散布しましょう。
- 農薬を散布したら必ず記帳するようにしましょう。
- タンクやホースは洗いもれがないようきれいに洗っておきましょう。

- ・ 病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>
- ・ 次回の発行予定は1月19日です。なお、注意報等の臨時情報は逐次発行されます。
- ・ 薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。
<https://pesticide.maff.go.jp/>



問い合わせ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp